



イベント 終了しました

【満員御礼受付終了】戦争とモーツァルト（全2回）第2回「モーツァルトの政治利用」

キーワード	日比谷カレッジ
内容	<p>過酷な戦時下にあって、モーツァルトの曲の持つ、深い哀しみ、限りない喜びは、演奏家たちに何をもたらしたのか。</p> <p>第2回「モーツァルトの政治利用」 1941年のモーツァルト没後150年祭は、ナチスによる戦意昂揚のプロパガンダでもあった。戦争と音楽との関係を問い、ナチスの弾圧の下で音楽家たちはどう生きたのか、歴史的文脈の中でモーツァルトの演奏を振り返る。ふたつの「レクイエム」の聴き比べ、ベルリンでの近衛秀麿の録音、フルートのモイーズやホルンのブレインなどの歴史的な演奏を聴く（途中休憩が入ります）。</p> <p>※終了時間の誤りについて【訂正】 当講座の終了時間を15：00と表記しておりましたが、正しくは15：50までとなります。表記に誤りがございまして申し訳ございません。</p>

	【誤】 14 : 00～15 : 00 ↓ 【正】 14 : 00～15 : 50
日にち	2016年01月23日（土） 14:00から15:50
日にち説明	当日の受付開始 13:30～
場所	4階 スタジオプラス（小ホール）
関連ファイル	151212戦争とモーツァルト チラシ.pdf
発信者	千代田区立日比谷図書文化館
定員	60名(申込順)
参加費用	1,000円

講師・出演者	大原哲夫
プロフィール	<p>■大原 哲夫（おおはら てつお） 1947年生まれ。エディター、作家。小学館版『モーツァルト全集』『バッハ全集』『武満徹全集』『林光の音楽』など全作品CD収録の音楽全集を企画、編集長を務める。2008年に大原哲夫編集室を開設。編集・執筆活動のほかコンサートをプロデュース、その一方で造形作品・絵画を発表。著書、編著書に『武満徹を語る15の証言』（小学館）『チェリスト・青木十良』（飛鳥新社）『モーツァルト・伝説の録音』（全3巻・刊行中。飛鳥新社）。</p>

主催	千代田区立日比谷図書文化館
----	---------------

問い合わせ先	千代田区立日比谷図書文化館（03-3502-3340）
--------	-----------------------------

申込期間	2015年11月03日 10:00 から2016年01月23日 14:00
------	---------------------------------------

申込方法	電話（03-3502-3340）、Eメール（college@hibiyal.jp）、来館（1階受付）いずれかにて、①講座名(または講演会名)、②お名前（よみがな）、③電話番号をご連絡ください。
------	--

関連リンク	大原哲夫事務所ホームページ
-------	-------------------------------

カレンダー表示 <input type="checkbox"/> イベント開催日 <input type="checkbox"/> 休館日	2016年 01月						
	日	月	火	水	木	金	土
						1	2
	3	4	5	6	7	8	9
	10	11	12	13	14	15	16

	17	18	19	20	21	22	23
	24	25	26	27	28	29	30
	31						

発信日	2015.11.03
-----	------------

 印刷  リストに追加

[ツイート](#)